

浜松市生活支援体制づくり協議体（第2層、あんま圏域） 第1回会議 議事録

開催日時	令和4年6月22日（水）13時30分から14時45分まで
参加者	委員：16人 事務局：1人 その他：15人（高齢者福祉課：2人、東区長寿保険課：3人、蒲協働センター：1人、天竜協働センター：1人、包括支援センターあんま：2人、関係機関2人、浜松市社協：4人）
場所	東部保健福祉センター 健康教育室・集団指導室
内容	<p>1 会長挨拶</p> <p>2 昨年度の振り返り ・各地区の昨年度の協議内容を事務局より説明</p> <p>3 今年度の方向性 （蒲）担い手の育成 ・人員の不足、高齢化。 ・協力者の募集方法、周知の方法。</p> <p>（和田）アンケート結果の活用方法 ・令和4年2月、3月にアンケートを実施。 ・集計結果の内容を検討し、次の取り組みを考える。</p> <p>（中ノ町） ・住民の居場所づくり、自治会館の活用。 ・地域の法人と協力し買い物支援を考える。</p> <p>4 グループワーク 地区ごとに分かれて上記の方向性を基にした進捗状況の確認と、意見交換を実施。</p> <p>5 各地区からの報告 地区ごとに話し合った内容について報告。</p> <p>中ノ町地区 ・家事支援サービスの範囲で、やむをえない場合に限り支援員が自家用車を使い送迎ができるようになった。東区では積志地区で実施されているとの情報提供がある。 ・買い物支援の送迎バスについては、長鶴の郷の協力を受ける話を進めていきたい。 ・自治会館の利用について、利用料金の無料化や改装等を行った。今後は、自治会、地区社協、シニアクラブの組織体制を見直している。</p> <p>蒲地区 ・他地区での家事支援において男性のメンバーが多い団体があった。実際にどのように活動されているか話を聞く機会を設ける方向で調整していく。 ・新たな担い手を探すにあたり、地区の各種団体の横のつながりと年齢を越えた縦のつながりが希薄なため、家事支援事業を知らない人が多いと思われる。今後家事支援事業を知ってもらうにはどのようにしていくかが課題である。</p>

	<p>和田地区</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アンケートの集計結果を共有した。高齢者の回収率が高い。買い物や移動支援、力仕事の支援、居場所の提供についての希望が多かった。自治会や関係者に結果を配布し、それぞれの団体でできる事から取り組んでもらう。 ・移動販売については業者から客の集客の確約を求められてしまうため話が進まない。 ・依頼があれば、町単位での草刈り、枝打ちの支援は引き受けているが、依頼少ない。回覧板でのお知らせや各戸配布の広報にお知らせを添付したが周知されていない。 <p>6 今年度の会議予定について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・6月（今回）、9月、1月を予定し、必要があればもう1回開催する。 <p>7 副会長挨拶</p>
今後の見通し等	<p>次回、令和4年度第2回協議体会議は令和4年9月22日（木）13時30分からの予定。</p>